

令和6年度 とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果（案）

【評価結果一覧】

方針名	施策名	委員会評価
市民活動に関する情報収集・提供	紙媒体による情報提供の充実	4
	インターネットなどの効果的な活用	4
人材育成と協働意識の醸成	担い手の育成と活用	4
	協働意識の醸成	4
市民活動団体の支援	活動拠点の充実	4
	財政的支援などの充実	4
	人的支援の充実	4
市民協働推進の仕組みづくり	推進・連携体制の整備	4
	協働事業の評価・公表	4

※委員会評価の点数は、裏面にある5点満点評価の数値を使い配点をしています。

【委員会意見】

総合評価については、9施策すべてが4点であり、具体策の目的達成度や効果は計画どおりであると評価します。

基本方針1「市民活動に関する情報収集・提供」

実施施策1「紙媒体による情報提供の充実」

市民活動に関する情報について、「とよかわボランティア・市民活動センターだより」をカラー化したことにより、年4回から年3回の発行となりましたが、視覚的な面で、以前よりも目を引く紙面となり、閲読率が増加したことを評価します。

シニア世代だけでなく、紙媒体による情報収集を行う人は一定数いるため、引き続き読む人が見やすい、読みやすいと感じる紙媒体の提供を期待します。

小学生への町内会に関する出前講座においては、町内会に未加入・脱退する世帯も増えてきているので、町内会の取組みや災害時における町内会等の働き等を知ってもらう必要があります。教員等の負担軽減等から、出前講座の強制はできませんが、引き続き町内会への参画意識を醸成することを期待します。

実施施策2「インターネットなどの効果的な活用」

各種SNS等を活用し、情報発信するとともに、インターネットを用いて各種講座の申込を受け付けることで、手軽に参加できる機会につながっています。

情報収集・発信ボランティア育成として、愛知大学生と協力して電子回覧板のアプリダウンロード登録方法のマニュアル動画が作成できたことを大いに評価します。

「インターネットに関心はあるが、使い方が分からない」というような市民に対するサポート体制が必要です。

インターネットの活用については、LINEやInstagramを利用する人が多いため、導入について検討が必要です。

基本方針2「人材育成と協働意識の醸成」

実施施策1「担い手の育成と活用」

高校側でも課外活動としてボランティア参加を進めていることもあり、若者ボランティア体験講座をはじめ、各種講座の受講者が増加したことを評価します。

また、商工観光課が所管しているボランティアガイドの講座が好評で、ボランティアの

士気が高まり、活動の活性化による新たな参加者の加入が期待できるようことを評価します。

健康づくり推進員養成講座については参加者が減少してしまっているため講座内容やチラシを見直し、市民ニーズに対応したものにする必要があります。

各種講座に参加した若者を継続して活動につなげる手法について検討が必要です。

実施施策 2 「協働意識の醸成」

それぞれの立場に応じた出前講座を実施しており、参加者数も増加しているため、効果的な取組みと評価します。今後は、講座を受講するだけでなく、受講後に市民協働に対する意識の変化にどうつながっているか確認し、各分野で成果が出ることに期待します。

基本方針 3 「市民活動団体の支援」

実施施策 1 「活動拠点の充実」

市制施行 80 周年事業に係る会館施設等使用料は減免されたが、今後もボランティア活動や市民活動の充実のため、支援が必要です。

実施施策 2 「財政的支援などの充実」

結ネットの応援事業所について、40 件の事業所から電子回覧板事業への理解が得られたことを高く評価します。市民協働推進事業補助金については、ハードルが高い仕組みとなっているので、今のニーズに合った支援内容を検討する必要があります。

実施施策 3 「人的支援の充実」

町内会アドバイザー派遣事業は、高校生や大学生などに町内会の課題解決に関わる機会を設けたことで、人的支援の面に限らず、協働が進展したと考えられます。

各種講座に参加した受講者が、その経験をボランティア活動に生かすことができる仕組みを検討する必要があります。

基本方針 4 「市民協働推進の仕組みづくり」

実施施策 1 「推進・連携体制の整備」

審議会への登用については的確に行われていると評価します。

市民の協働参画が進むことで、多様なニーズが生まれるため、豊川独自の行政運営や、サービスの展開を期待します。

豊川市制施行 80 周年事業は市民・市民活動団体・企業・市が一体となり、記念事業を盛り上げました。今後も連携の醸成を維持、継続できるよう期待します。

実施施策 2 「協働事業の評価・公表」

協働事業の公表が適正に行われて、広く公表できています。また、ホームページがリニューアルされ、改善されたことを評価します。

次期計画の策定に向け、統括等を行い、各種団体からの意見を計画に反映し、より良い計画の策定を期待します。

参考

【評価基準】

評価点	評 価 基 準
5	具体策の目的達成度や効果は非常に良好であり、継続して行うべきである
4	具体策の目的達成度や効果は良好であり、継続して行うべきである
3	具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきである
2	具体策の目的達成度や効果が少し不十分であり、内容の一部見直しを要する
1	具体策の目的達成度や効果が不十分であり、根本的見直し、または中止を要する

【評価の方法】

評価は、実施施策ごとに事業実績報告書と目標指標実績報告書を確認し、目的達成度や効果などを客観的に評価して、次の基準により実施する。